

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名		コード	24000 畜産振興事務費(畜産生産組合への支援)	予算科目	会計	款	項	目	所管課	農水産課	担当班	畜産班
基本施策		1	農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金交付規則	一般	6	1	4			
施策の展開		1	農畜産物の生産振興	戦略事業	7	畜産生産組合への支援						
施策の展開				戦略事業								

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	地域畜産業の振興を図るため、「生産組合の事業活動(組合で行う勉強会や先進地視察等)の支援」及び「生産組合が開催する肉の共進会(組合員が飼育した家畜の品評会)」への助成を行う。 ・補助金交付団体:2団体
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
「地域畜産農家の連携強化」、「家畜伝染病に対する防疫強化」、「地域畜産物の生産技術向上」を目的として、生産組合への助成を開始。現在、生産組合の活動の大きな助けとなっている。	事業を実施することで効果は出ているものの、畜産農家戸数は年々減少している。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
事業を実施することで、畜産農家から「農家間の連携が強化された」、「組合員個々の防疫意識が向上した」等といった声があがっている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1.肉用牛生産肥育組合補助金	138	事業活動支援:53千円、共進会助成:85千円
2.干潟種豚組合補助金		(平成29年4月 養豚組合と合併)
3.養豚組合補助金		(平成29年4月 種豚組合と合併)
4.養豚生産者組織補助金	297	事業活動支援:197千円、共進会助成:100千円
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

		単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
事業費	1. 肉用牛生産肥育組合補助金	千円	138	138	138	138	138
	2. 干潟種豚組合補助金	千円					
	3. 養豚組合補助金	千円					
	4. 養豚生産者組織補助金	千円	297	297	297	297	297
	事業費計 (A)	千円	435	435	435	435	435
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	435	435	435	435	435

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数 常時 1 人 最大 3 人 × 30 日 = 延べ 90 人

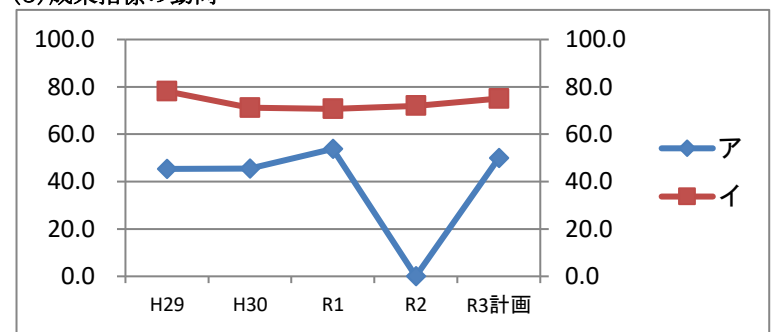
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)	ア	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
	・補助金の交付 ・適正に補助金が使われているか確認		イ						
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
目的	対象意図	ア	研修会・先進地視察等に参加した畜産農家の割合(参加した畜産農家数／畜産生産組合員数)	%	45.3	45.5	53.8	0.0	50.0
	対象意図		共進会に参加した畜産農家の割合(参加した畜産農家数／畜産生産組合員数)	%	78.1	71.2	70.7	72.0	75.0
	対象意図								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果				② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地		評価結果	①	コスト比率	
		かなりある	ある程度ある			下位 1/3	中位 1/3
大きい	大きい		②				
	普通				(2)		
	小さい						

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		完了 順調 概ね順調 停滞 実施困難											
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	向上	横ばい	低下	成果比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ		数値増＝成果向上	向上	横ばい	低下	29年度		30年度	1年度	2年度	3計画	
		新型コロナウイルスの影響により研修会等が中止となり参加できなかった								ア	△23.9	0.2	8.3	△53.8
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	拡大 縮小	現状維持 廃止・休止	見直し その他()	イ	△9.2	△6.9	△0.5	1.3	3.0
	随時	組合への助成 ・肉の共進会(品評会)の開催に対する助成 ・組合の事業活動(勉強会、先進地視察等)の支援			随時	例年通り実施								